

〔延喜式三十九〕年料略中

尾張國(中略) 蟹二擔
四壺○下略

〔毛吹草三〕三河 寄居虫

〔いほぬし〕みなべの濱に、ゑりたる人の、みやまより歸るにあひぬ、同じうは、もろともにまで給へ
かしといへば、かへる人忍びて申給ふこともこそあれといへば、いほぬし○増基なにごとにかあ
らん、ものうたがひは、つみうなりとてひろひたる貝を手まさぐりになげやりたれば、ものあら
がひぞまさるなる、かうなあらがひ給そとて、かうなのからをなげをこせたり、また浪にもうか
ひて、うちよせらるゝを、かれ見給へ、入ぬるいそのといへば、かへる人、こふる日はと、心ありがほ
にいへば、いほぬしくまのおのづからといへば、浦のはまゆふといらふるに○下略

〔類聚雜要抄一〕一母屋大饗

同饗應差圖 蟹カニナ

〔朝倉亭御成記〕五獻略○中

〔和漢三才圖會介貝四十七〕貝鮒 章魚舟 乙姫貝

按、貝鮒、津輕處處北海有之、不時多出、或全不出、其螺大者七八寸、小者二三寸、黃白或純白、形似鸚鵡螺之輩、略如秋海棠之葉、有文理可愛、中有一小章魚、出兩手於殼肩、出兩足於殼後、爲櫂竿之象遊行、故名章魚船、一歲津輕海濱數百成群寄來焉、人多捕之、而惟無食之者、試煮食犬、其犬爲煩悶因知有毒物、棄章魚取殼以爲珍器、然其殼薄脆不堪用。

貝鮒

陽海燕足

〔本朝食鑑十〕蛸 枕俗稱如字

釋名海俗所謂蛸魚得此物爲枕而名是兒女之戲謔也乎